



9・10月に行われたイベントなどについてお知らせします

川治温泉とシーボルトらの「縁」を紹介

9月29日(日)、野岩鉄道川治温泉湯元駅前にオーストリアの外交官で考古学者のシーボルトら著名人と、川治温泉との縁を紹介する看板が設置されました。これはシーボルトが狩猟でたびたび川治温泉を訪れ、人生訓を書いた絹布や書簡を残していることから、地元の藤川徹さんら有志が設置。

当日は、シーボルトのひ孫の関口忠志さん夫妻(東京都)を迎え、お披露目式を行いました。



設置された看板と関口氏(左から2人目)

ラピッド市公式訪問団来訪

10月14日(月・祝)〜20日(日)、海外姉妹都市ラピッド市(アメリカ合衆国サウスダコタ州)から4名の公式訪問団が日光市を訪れました。ラピッド市公式訪問団は、隔年で日光市を訪れており、今回も一般の家庭にホームステイしながら、市内の保育園や小学校で子どもたちと交流を深めたり、観光スポットを訪れたりしました。

訪問団は、15日(火)には日光市役所を表敬訪問。伝統的なキルト手芸品を、ネイティブアメリカンの部族長に贈る儀式に倣い、大嶋市長の肩に掛け贈りました。また、17日(木)は、着物に着替えて市内を散策。日光東照宮秋季祭の千人行列などを見学し、日本の歴史と伝統文化を満喫しました。



キルトをまとった大嶋市長(中央)



初体験の着物で日光散策

日光東照宮秋季祭

10月7日(木)、日光東照宮秋季祭「百物揃千人武者行列」が執り行われました。

これは、徳川家康公の神霊を駿府久能山から日光へ改葬した当時の行列を再現したもので、秋晴れの下、約800人が東照宮表参道約1kmを練り歩きました。

江戸時代の武者などを模した豪華な衣装で着飾った行列が目前



晴天の下、厳かな雰囲気で行われました

に近づくと、多くの人がカメラやスマートフォンを構えながら、美しさに心を奪われていました。

メキシコから訪れたアラルシアさんは「インターネットで見つけたこのイベントを楽しみに、日光を訪れました。このような日本の伝統行事は初めてで、多くのカラフルな衣装にとっても興奮しました」と笑顔で話してくれました。



地元小中学生も参列

とちぎ元気フォーラム in 日光

10月5日(土)、市役所の市民ホールで「知事と語ろう! とちぎ元気フォーラム in 日光」が開催されました。地域おこし協力隊の日光彫普及活動と女声合唱団日光カンマーコールの活動報告の後、県知事が県政の説明や市民との意見交換を行いました。



福田富一知事によるあいさつ



オールドカー展示会

10月6日(日)、日光だいや川公園で、「温故知新」をテーマに自動車文化を振り返るイベントが開催され、市内外から旧車39台が集まりました。

希少なレース仕様のフェアレディZ「432R」で参加の竹内さん(千葉県)は「日光でのこのようなイベントに参加するのは初めてです。友人たちと楽しく過ごせました」と話してくれました。



竹内さんと Z432R



加俣菜を使った温かい干葉汁



たくさんの人でにぎわいました

10月19日(土)、クリヤマルシェが旧栗山中学校校庭(日向)で開催され、地場産品や郷土料理、オリジナルの小物などを販売する個性豊かな46店舗の出店がありました。午前10時のスタートに降っていた雨は、11時過ぎにやんで晴れ間が差し、訪れた地域の方や観光客は、「日光ブランドに認定されている「ばんだい餅」をはじめ、川俣

クリヤマルシェ

の伝統野菜「川俣菜」と鹿肉を煮込んだ「干葉汁」や、甘いと評判の土呂部の焼きとうもろこし、炭火で焼いたイワナなど、栗山特産の豊富なメニューに舌鼓。また、手作り小物や体験型のワークショップもあり、紅葉で色付き始めた栗山の秋の風景と、人々の温かい魅力が感じられる一日となりました。



子どもたちも屋台に集合!



日が暮れ明かりが灯ると最高潮に

10月20日(日)、JR今市駅前通りで今市屋台まつりが開催され、各町内の彫刻屋台や花屋台10台が一堂に集まり、多くの人でにぎわいました。屋台が向き合い、お囃子の競演を行う「ぶっつけ」が始まると、お囃子の音色と掛け声が一带に響きわたり、笑顔と熱気があふれていました。

今市屋台まつり



「ぶっつけ」で盛り上がる人々

日光大収穫祭

10月19日(土)・20日(日)、東武鉄道下今市駅前広場で「二宮金次郎の日光大収穫祭」が開催されました。SL大樹の乗客などに金次郎終焉の地である今市の歴史や食の魅力を発信するため、倉ヶ崎産米を使った金谷ホテル百年ライスカレーが振る舞われた他、俵持ち上げチャレンジや餅つき体験などが行われました。



60kgの米俵を持ち上げた今市高校1年の岡本京也くん